

みえないいちから

校長 小林 信



2学期がスタートし約3週間が終わりました。例年になく暑いスタートとなり、学校では熱中症指数が高いため休憩時の外遊びを2日ほど制限しました。運動会の日も大変暑く、心配したところですが、途中、曇りの時間帯があり何とか予定通り終えることができました。見に来られた保護者の方や地域の方には、日差しが強い中、声援をしていただき本当にありがとうございました。子ども達も励みになったことと思います。ここ数年の夏の気温の上昇を考えると運動会の実施時期については、今後検討が必要かと考えています。

始業式にて（9・1）

2学期は、1学期に取り組んだことがもとになり、より学びが広がり深まる時です。また、行事を通して子どもの成長がたくさん見られる学期です。さらに学級の枠を超えて子ども達のかかわりが増えてくる学期ともいえます。その中で、子ども達は友達の良さに気づいていくと考えます。そこで、始業式の日子ども達に頑張してほしいこととして、「友達の良いところを見つけて伝えよう」と話をしました。また、「自立する」ということについて話をしました。

自立とは「**将来、自分で仕事を選び、収入を得て自分で生活すること**」です。そのために必要な知恵や考え方、マナーなどを学校という勉強の場を含み様々な場で学んでいることとなります。でも人には、得意、不得意があります。誰もが同じように

何かをできるわけではありません。その人なりの特性（場合によっては個性）があります。でも、その不得意なことが成長とともにより顕著に表れ悩んでしまうことがあります。それが、本人の将来にとって必要な力であるならば学校では、時間をかけ、ゆっくり丁寧に学べるよう場を設定しています。それが、少人数指導であったり、にこにこサポートティーチャーとの時間であったり、通級指導や特別支援学級での学びの場です。学びの場が違えども誰もが将来の自立に向けて努力していることは変わりません。子ども達は、友達とのかかわりの中で、その人の得意なことを見つけられませんが、もちろん不得意な面にも気づいていくはずです。そして、その時どう行動するかが大切です。人は、不得意な面を指摘されても悲しい気持ちになるだけです。だったら得意なことを認め励まし、その人を元気にさせてあげるほうが良いじゃないですか。その元気は、不得意な事にチャレンジしようとするエネルギーになります。集う仲間が元気であることが何より大切な事です。三階小学校の仲間をみんなで元気にしましょう。

1学期の出会いの時を経て、より友達の良さに気づき、認め励ますことができる人になってほしいと考えます。また、認め励ます友達がいるからこそ、より難しい課題にチャレンジする人であってほしいと思います

運動会 (9・16)

9月16日(土)に運動会を実施しました。当日は、日差しも強く、途中、雲が出なければ続けることが難しかったかもしれません。テントの中はまだ大丈夫ですが、炎天下で作業する役員の子もは大変だったと思います。競技の間に予定以上の休憩をはさみ何とか最後まで実施できました。でも、そんな中、一人一人の一生懸命な姿、友達を拍手で応援する姿、役員を一生懸命取り組もうとする姿とても印象に残りました。子ども達の頑張りがたくさん発見できた素晴らしい運動会になったと思います。やっぱり三階小「最高です！」



